

Mammary

	乳腺症	線維腺腫	乳癌	乳房 Paget病	管内性乳 頭腫	葉状腫瘍
発生頻度	<u>最も多い</u>	しばしばみられる	しばしば みられる	まれ	まれ	まれ
発生部位	<u>両側性</u>	片側性～両側性	片側性	片側性	片側性	片側性
数	多発	単発～多発	単発	単発	単発	単発
表面	凸凹，顆粒～ 結節状	平滑	凸凹	<u>乳頭が 湿疹様</u>	平滑	平滑，巨大になると“ <u>やつがしら</u> ”状
境界	不鮮明	<u>鮮明</u>	<u>不鮮明</u>	不鮮明	鮮明	鮮明
圧痛	多い	まれ	まれ	(－)	まれ	(－)～まれ
可動性	(＋)	(＋)	(＋～ －)	(－)	(＋)	(＋)
好発年齢	35～閉経前後 45歳	<u>20～30歳代</u>	<u>40～60歳</u>	40～60 歳	40～60歳	30～40歳代
皮膚変化	(－)	(－)	(＋～ －)	(＋)	(－)	(－)
乳頭よりの 血性分泌	乳汁様 (ときに血 性)	<u>(－)</u>	しばしば 血性	ときに 血性	<u>しばしば 血性</u>	(－)
画像	超音波検査： ・ 大小の嚢 胞像が混 在 ・ 斑紋様の 所見が多 い	マンモグラフィ： ・ <u>辺縁明瞭で卵殻状石灰 化 (＋) の腫瘍陰影</u>	マンモグ ラフィ： ・ <u>石灰化</u> ・ 腫瘍陰 影 ・ <u>spicula</u>	特別な ものな し	乳管造 影： ・ <u>乳管 内突 出物</u>	線維腺腫に類似，超 音波検査： ・ 液体貯留による 裂隙形成
治療	経過観察	経過観察	外科的切 除 化学・内 分泌療法	外科的 切除	<u>経過観察</u> 外科的切 除	<u>経過観察</u> <u>外科的切除</u>

乳房腫瘍の鑑別

	腫瘍	血性分泌	びらん	疼痛
乳癌	(+)	(+)	(+/-)	
乳腺症	(+)*			(+)
線維腺腫	(+)			

身体診察

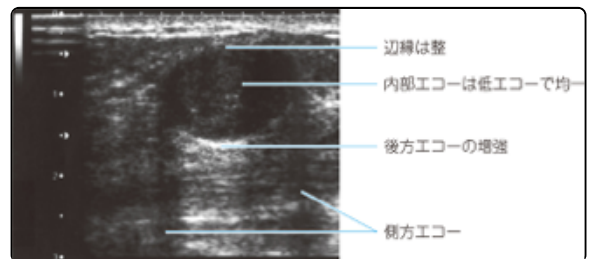
胸筋を弛緩させて
視診 ・ 座位 / 仰臥位
触診 ・ 指先で

Paget病			(+)	
乳管内乳頭腫		(+)		
葉状腫瘍	(+)			
女性化乳房症				(+)

Fibroadenoma 線維腺腫 5

Exam

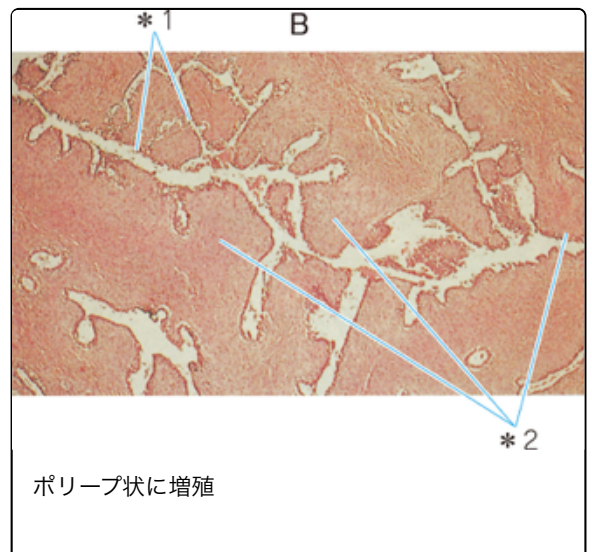
- U/S
 - 表面平滑
 - 弾性硬
 - 可動域良好



Phyllode Tumor 葉状腫瘍 3

Treatment

- 外科的切除



Mastopathy 乳腺症 3

Epidemiology

- 30s - 閉経

Treatment

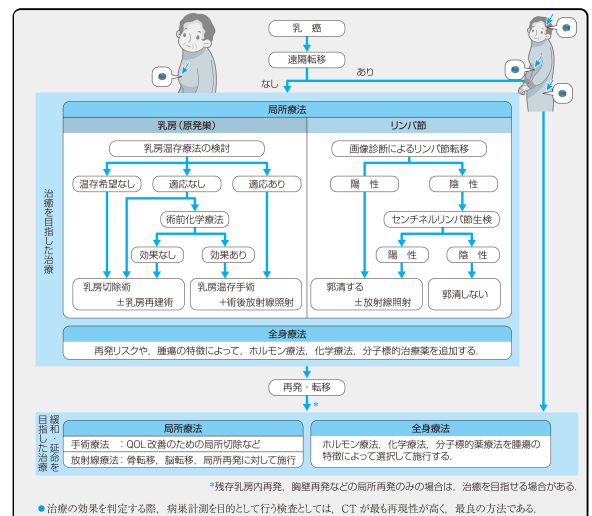
- ダナゾール
(抗エストロゲン & アンドロゲン作用)

BC Breast Cancer 16

Symptom

- 外上方

乳癌の治療



閉経前：

- LH-RHアゴニスト（2年間）＋タモキシフェン（5年間）

閉経後：

- アロマターゼ阻害剤（5年間）
，または
- タモキシフェン，トレミフェンのいずれか（5年間）

Paget 4

Etiology

- 乳管上皮

Symptom

Intraductal Papilloma 乳腺管内乳頭腫

2

Symptom

- 血性乳頭分泌

Quiz